

ダイワ米国 バイバック・ファンド (為替ヘッジあり/為替ヘッジなし)

運用報告書(全体版)

第16期

(決算日 2022年3月18日)

(作成対象期間 2021年9月22日~2022年3月18日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、米国企業の株式等の中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしております。当作成期につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先（コールセンター）
TEL 0120-106212
(営業日の9:00~17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

<5624>
<5625>

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/海外/株式	
信託期間	2014年3月19日~2024年3月18日	
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ米国バイバック・マザーファンドの受益証券
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限
	マザーファンドの株式組入上限比率	無制限
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とし、原則として、基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。	

為替ヘッジあり

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (米ドルベース)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期末(2020年3月18日)	8,756	0	△ 20.3	13,509	△ 15.9	94.3	—	531
13期末(2020年9月18日)	10,798	200	25.6	17,930	32.7	96.3	—	619
14期末(2021年3月18日)	12,673	1,300	29.4	21,226	18.4	96.1	—	612
15期末(2021年9月21日)	12,347	1,300	7.7	23,275	9.7	96.3	—	546
16期末(2022年3月18日)	12,259	0	△ 0.7	23,563	1.2	100.7	—	518

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数（米ドルベース）は、同指数の原データをもとに、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数（米ドルベース）の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

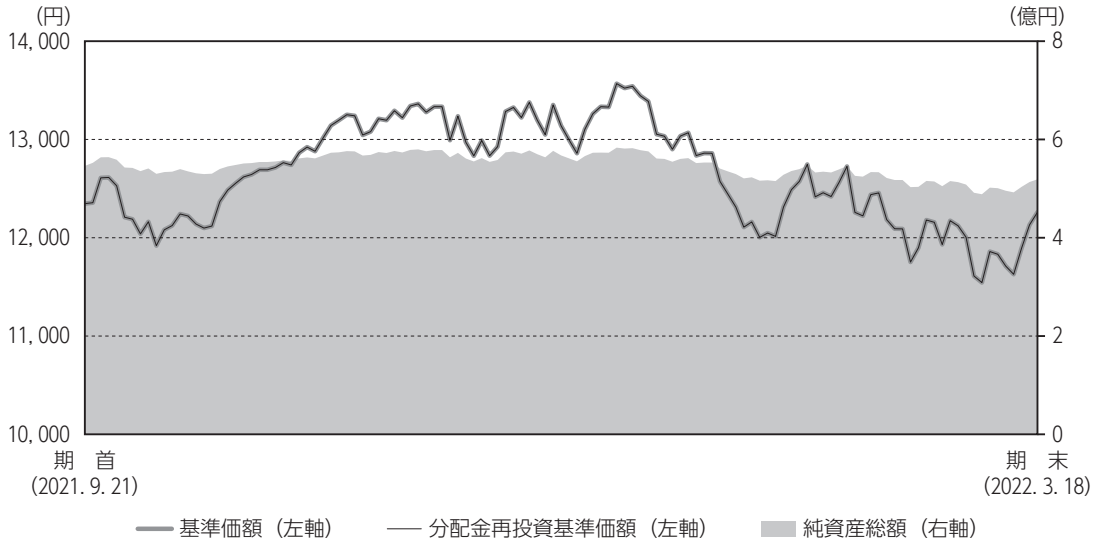
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

- * 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- * 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：12,347円

期末：12,259円（分配金0円）

騰落率：△0.7%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資し、為替ヘッジをした結果、基準価額はおおむね横ばいとなりました。米国株式市況は良好な企業決算や経済指標の発表などを背景に上昇しましたが、保有株式はおおむね横ばいで推移したことから、軽微な影響となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド (為替ヘッジあり)

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (米ドルベース)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2021年 9月21日	12,347	—	23,275	—	96.3	—
9月末	12,189	△ 1.3	23,285	0.0	99.0	—
10月末	12,865	4.2	24,550	5.5	98.4	—
11月末	13,237	7.2	24,865	6.8	97.0	—
12月末	13,541	9.7	25,601	10.0	97.6	—
2022年 1月末	12,313	△ 0.3	23,671	1.7	99.0	—
2月末	12,181	△ 1.3	23,419	0.6	98.7	—
(期末)2022年 3月18日	12,259	△ 0.7	23,563	1.2	100.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 9. 22 ~ 2022. 3. 18）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから下落しました。2021年10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや良好な企業決算の発表が相次いだことなどから上昇しました。その後は、C P I（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、年末にかけて株価は上昇基調を維持しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めへの懸念が高まり金利が上昇したことなどを嫌気したほか、ウクライナ情勢の緊迫化の影響を受け、成長株を中心に下落しました。当作成期末にかけては、ウクライナとロシアの停戦協議進展への期待や原油価格の上昇一服、F O M C（米国連邦公開市場委員会）を無難に通過したことによる不確実性の後退などを背景に上昇しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 9. 22 ～ 2022. 3. 18）

■当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行いました。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

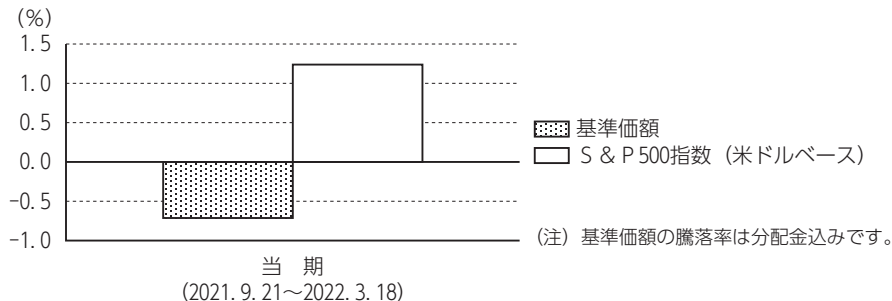
ポートフォリオは、米国のバイバック企業に投資し、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。業種別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、一般消費財・サービスセクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、APPLE INC（情報技術）、MICROSOFT CORP（情報技術）、ALPHABET INC-CL A（コミュニケーション・サービス）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（米ドルベース））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。
 なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

■分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年9月22日 ～2022年3月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	2,410

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。また、当ファンドでは、為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行います。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 9. 22～2022. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	112円	0. 885%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は12, 647円です。
（投 信 会 社）	(54)	(0. 429)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(54)	(0. 429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(3)	(0. 027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	8	0. 060	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（株 式）	(8)	(0. 060)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0. 000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（株 式）	(0)	(0. 000)	
そ の 他 費 用	3	0. 027	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(3)	(0. 024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監 査 費 用）	(0)	(0. 003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（そ の 他）	(0)	(0. 001)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	123	0. 973	

(注 1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注 2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

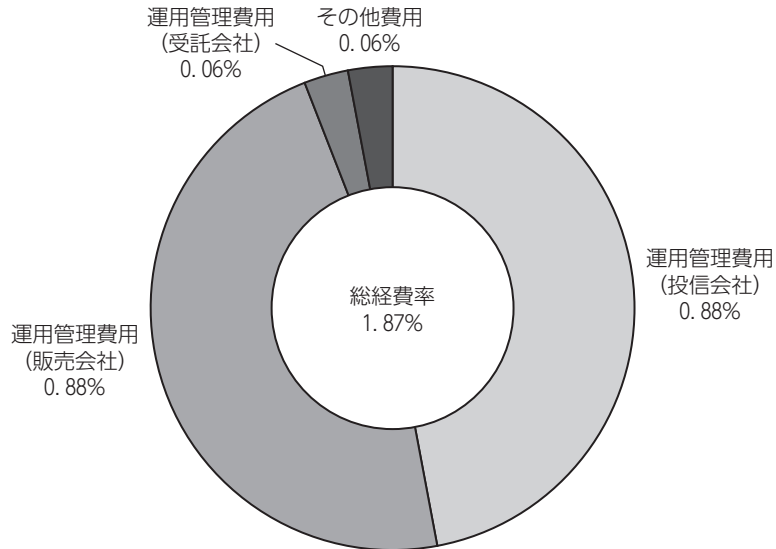
(注 3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注 4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジあり）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2021年9月22日から2022年3月18日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	6,872	15,000	27,754	62,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2021年9月22日から2022年3月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	6,004,192千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,077,492千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.95

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	期 首	当 期 末	
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	253,665	232,783	533,563

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	533,563	98.8
コール・ローン等、その他	6,268	1.2
投資信託財産総額	539,831	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝118.69円です。

（注3）ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,063,746千円）の投資信託財産総額（3,168,490千円）に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	1,048,610,328円
コール・ローン等	6,253,978
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	533,563,908
未収入金	508,792,442
(B) 負債	529,676,248
未払金	524,810,015
未払信託報酬	4,851,623
その他未払費用	14,610
(C) 純資産総額（A－B）	518,934,080
元本	423,297,276
次期繰越損益金	95,636,804
(D) 受益権総口数	423,297,276口
1万口当り基準価額（C/D）	12,259円

* 期首における元本額は442,292,188円、当作成期間中における追加設定元本額は5,415,313円、同解約元本額は24,410,225円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は12,259円です。

■損益の状況

当期 自 2021年9月22日 至 2022年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 414円
受取利息	9
支払利息	△ 423
(B) 有価証券売買損益	1, 115, 389
売買益	49, 935, 130
売買損	△ 48, 819, 741
(C) 信託報酬等	△ 4, 871, 808
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3, 756, 833
(E) 前期繰越損益金	96, 275, 021
(F) 追加信託差損益金	3, 118, 616
(配当等相当額)	(5, 749, 897)
(売買損益相当額)	(△ 2, 631, 281)
(G) 合計 (D + E + F)	95, 636, 804
次期繰越損益金 (G)	95, 636, 804
追加信託差損益金	3, 118, 616
(配当等相当額)	(5, 749, 897)
(売買損益相当額)	(△ 2, 631, 281)
分配準備積立金	96, 275, 021
繰越損益金	△ 3, 756, 833

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	0円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	0
(c) 収益調整金	5, 749, 897
(d) 分配準備積立金	96, 275, 021
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	102, 024, 918
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	102, 024, 918
(h) 受益権総口数	423, 297, 276口

為替ヘッジなし

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%		%	%	%	百万円
12期末(2020年3月18日)	9,010	0	△ 20.7	14,303	△ 16.5	95.2	—	2,238
13期末(2020年9月18日)	10,843	250	23.1	18,533	29.6	97.1	—	2,479
14期末(2021年3月18日)	13,322	1,300	34.9	22,804	23.0	97.0	—	2,695
15期末(2021年9月21日)	13,034	1,400	8.3	25,143	10.3	96.8	—	2,427
16期末(2022年3月18日)	13,982	0	7.3	27,573	9.7	97.7	—	2,556

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) S & P 500指数(円換算)は、S & P 500指数(米ドルベース)をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数(米ドルベース)の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLCが有しています。S & P Dow Jones Indices LLCは、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

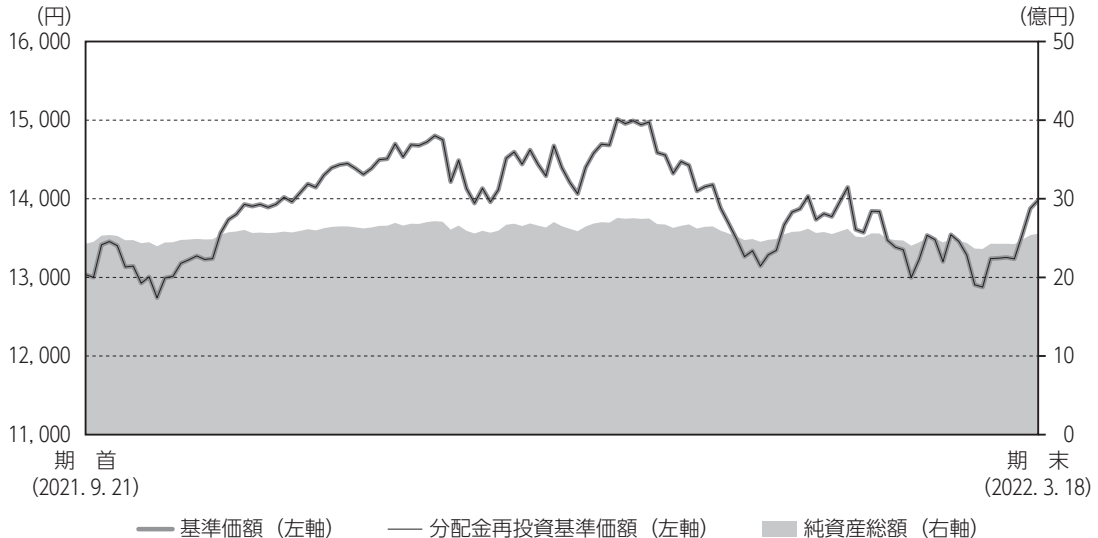
(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。



運用経過

基準価額等の推移について



(注) 分配金再投資基準価額は、当作成期首の基準価額をもとに指数化したものです。

* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

■ 基準価額・騰落率

期首：13,034円

期末：13,982円（分配金0円）

騰落率：7.3%（分配金込み）

■ 基準価額の主な変動要因

主に米国の株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。株式部分については、米国株式市況は良好な企業決算や経済指標の発表などを背景に上昇しましたが、保有株式はおおむね横ばいで推移したことから、軽微な影響となりました。一方で為替部分については、米ドルが円に対して上昇（円安）したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

年 月 日	基 準 価 額		S & P 500指数 (円換算)		株 式 組入比率	投資信託 証 券 組入比率
	円	騰 落 率 %	(参考指数)	騰 落 率 %		
(期首)2021年 9月21日	13,034	—	25,143	—	96.8	—
9月末	13,143	0.8	25,693	2.2	97.8	—
10月末	14,074	8.0	27,513	9.4	98.7	—
11月末	14,487	11.1	27,890	10.9	98.1	—
12月末	14,993	15.0	29,031	15.5	97.6	—
2022年 1月末	13,669	4.9	26,941	7.1	97.9	—
2月末	13,535	3.8	26,679	6.1	98.0	—
(期末)2022年 3月18日	13,982	7.3	27,573	9.7	97.7	—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

投資環境について

（2021. 9. 22 ~ 2022. 3. 18）

■米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから下落しました。2021年10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや良好な企業決算の発表が相次いだことなどから上昇しました。その後は、C P I（消費者物価指数）の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面はあったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、年末にかけて株価は上昇基調を維持しました。2022年に入ると、F R B（米国連邦準備制度理事会）による金融引き締めへの懸念が高まり金利が上昇したことなどを嫌気したほか、ウクライナ情勢の緊迫化の影響を受け、成長株を中心に下落しました。当作成期末にかけては、ウクライナとロシアの停戦協議進展への期待や原油価格の上昇一服、F O M C（米国連邦公開市場委員会）を無難に通過したことによる不確実性の後退などを背景に上昇しました。

■為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、利上げ観測の高まりや日米金融政策の方向性の違いを要因として、上昇しました。その後、米ドルは一時下落しましたが、米国の利上げ回数が増加観測などを受けて再度上昇しました。2022年に入ってから、おおむねレンジ内での推移となりました。当作成期末にかけては、米国金利上昇による日米金利差拡大から円安米ドル高で推移しました。

前作成期末における「今後の運用方針」

■当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業（自社株買いに積極的な企業）に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

ポートフォリオについて

（2021. 9. 22 ～ 2022. 3. 18）

■当ファンド

主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざしました。

■ダイワ米国バイバック・マザーファンド

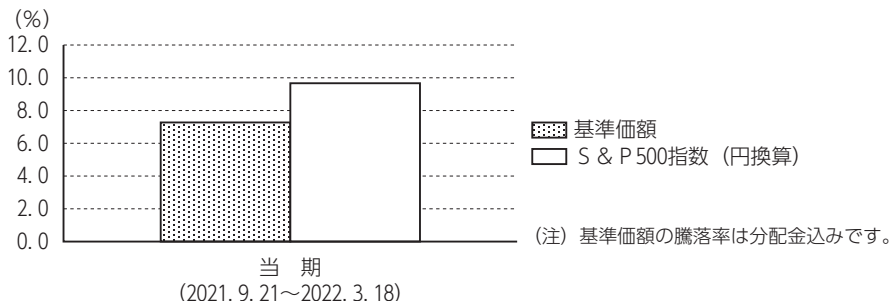
ポートフォリオは、米国のバイバック企業に投資し、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。業種別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、一般消費財・サービスセクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、APPLE INC（情報技術）、MICROSOFT CORP（情報技術）、ALPHABET INC-CL A（コミュニケーション・サービス）などを組入上位としました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数（S & P 500指数（円換算））との騰落率の対比です。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

当作成期は、基準価額の水準等を勘案し、収益分配を見送らせていただきました。

なお、留保益につきましては、運用方針に基づき運用させていただきます。

分配原資の内訳（1万口当り）

項 目	当 期	
	2021年9月22日 ～2022年3月18日	
当期分配金（税込み）	（円）	—
対基準価額比率	（％）	—
当期の収益	（円）	—
当期の収益以外	（円）	—
翌期繰越分配対象額	（円）	4,081

- (注1) 「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後の有価証券売買等損益」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「収益調整金」および「分配準備積立金」から分配に充当した金額です。
- (注2) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金（税込み）に合致しない場合があります。
- (注3) 当期分配金の対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。



今後の運用方針

当ファンド

今後も、主として、「ダイワ米国バイバック・マザーファンド」の受益証券を通じて、米国企業の株式などの中からバイバック企業に投資することにより、値上がり益の獲得による信託財産の成長をめざします。

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことによって魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2021. 9. 22~2022. 3. 18)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	123円	0.885%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は13,912円です。
(投 信 会 社)	(60)	(0.429)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(60)	(0.429)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(4)	(0.027)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	8	0.060	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(株 式)	(8)	(0.060)	
有 価 証 券 取 引 税	0	0.000	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株 式)	(0)	(0.000)	
そ の 他 費 用	4	0.027	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(3)	(0.024)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	135	0.972	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

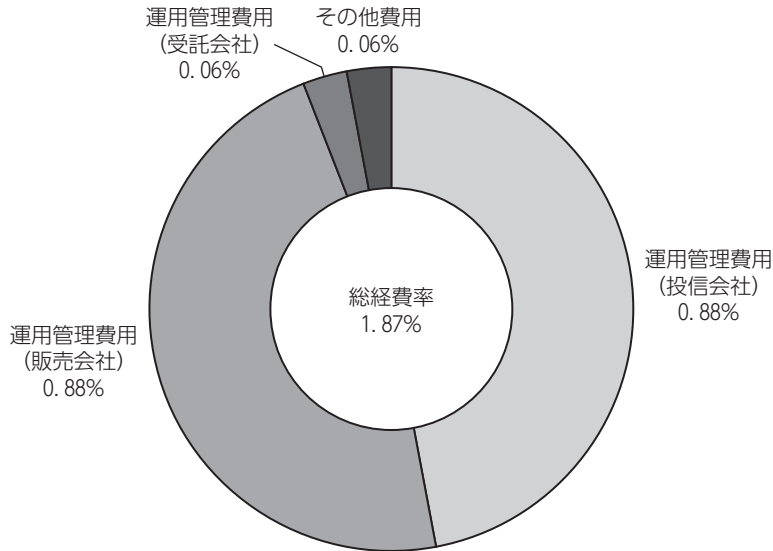
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.87%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ米国バイバック・ファンド（為替ヘッジなし）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2021年9月22日から2022年3月18日まで）

項目	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	54,789	124,000	76,131	171,000

（注）単位未満は切捨て。

■株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

（2021年9月22日から2022年3月18日まで）

項 目	当 期
	ダイワ米国バイバック・マザーファンド
(a) 期中の株式売買金額	6,004,192千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,077,492千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	1.95

（注1）(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

（注2）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	□ 数	□ 数	評 価 額
	千口	千口	千円
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	1,133,549	1,112,207	2,549,290

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
ダイワ米国バイバック・マザーファンド	2,549,290	98.7
コール・ローン等、その他	32,805	1.3
投資信託財産総額	2,582,096	100.0

（注1）評価額の単位未満は切捨て。

（注2）外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝118.69円です。

（注3）ダイワ米国バイバック・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（3,063,746千円）の投資信託財産総額（3,168,490千円）に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	2,582,096,173円
コール・ローン等	29,805,892
ダイワ米国バイバック・マザーファンド（評価額）	2,549,290,281
未収入金	3,000,000
(B) 負債	25,610,259
未払解約金	2,742,100
未払信託報酬	22,799,157
その他未払費用	69,002
(C) 純資産総額（A－B）	2,556,485,914
元本	1,828,438,856
次期繰越損益金	728,047,058
(D) 受益権総口数	1,828,438,856口
1万口当り基準価額（C/D）	13,982円

* 期首における元本額は1,862,656,981円、当作成期間中における追加設定元本額は96,571,591円、同解約元本額は130,789,716円です。

* 当期末の計算口数当りの純資産額は13,982円です。

■損益の状況

当期 自 2021年9月22日 至 2022年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	△ 1,252円
受取利息	45
支払利息	△ 1,297
(B) 有価証券売買損益	187,466,676
売買益	197,049,640
売買損	△ 9,582,964
(C) 信託報酬等	△ 22,868,159
(D) 当期損益金 (A + B + C)	164,597,265
(E) 前期繰越損益金	479,236,693
(F) 追加信託差損益金	84,213,100
(配当等相当額)	(102,437,420)
(売買損益相当額)	(△ 18,224,320)
(G) 合計 (D + E + F)	728,047,058
次期繰越損益金 (G)	728,047,058
追加信託差損益金	84,213,100
(配当等相当額)	(102,437,420)
(売買損益相当額)	(△ 18,224,320)
分配準備積立金	643,833,958

(注1) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しておりません。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

(注3) 収益分配金の計算過程は下記「収益分配金の計算過程（総額）」をご参照ください。

■収益分配金の計算過程（総額）

項 目	当 期
(a) 経費控除後の配当等収益	11,495,902円
(b) 経費控除後の有価証券売買等損益	153,101,363
(c) 収益調整金	102,437,420
(d) 分配準備積立金	479,236,693
(e) 当期分配対象額 (a + b + c + d)	746,271,378
(f) 分配金	0
(g) 翌期繰越分配対象額 (e - f)	746,271,378
(h) 受益権総口数	1,828,438,856口

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

運用報告書 第16期 (決算日 2022年3月18日)

(作成対象期間 2021年9月22日～2022年3月18日)

ダイワ米国バイバック・マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りです。

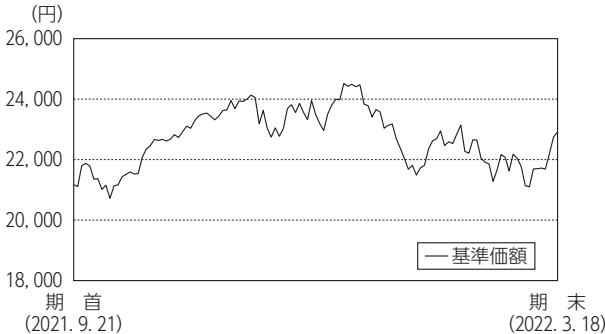
運用方針	信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	米国の金融商品取引所上場および店頭登録（上場予定および店頭登録予定を含みます。）の株式および不動産投資信託証券（不動産投資信託の受益証券および不動産投資法人の投資証券をいいます。）
株式組入制限	無制限

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		S & P 500指数 (円換算)		株式 組入比率	投資信託 証券 組入比率
	円	騰落率	(参考指数)	騰落率		
(期首) 2021年9月21日	21,166	—	25,143	—	98.0	—
9月末	21,369	1.0	25,693	2.2	98.0	—
10月末	22,916	8.3	27,513	9.4	98.7	—
11月末	23,627	11.6	27,890	10.9	98.1	—
12月末	24,489	15.7	29,031	15.5	97.5	—
2022年1月末	22,354	5.6	26,941	7.1	97.9	—
2月末	22,166	4.7	26,679	6.1	97.9	—
(期末) 2022年3月18日	22,921	8.3	27,573	9.7	98.0	—

- (注1) 騰落率は期首比。
- (注2) S & P 500指数 (円換算) は、S & P 500指数 (米ドルベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。S & P 500指数 (米ドルベース) の所有権およびその他一切の権利は、S & P Dow Jones Indices LLC が有しています。S & P Dow Jones Indices LLC は、同指数の算出にかかる誤謬等に関し、いかなる者に対しても責任を負うものではありません。
- (注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。
- (注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】
期首：21,166円 期末：22,921円 騰落率：8.3%

【基準価額の主な変動要因】

主に米国の株式に投資した結果、基準価額は上昇しました。株式部分については、米国株式市況は良好な企業決算や経済指標の発表などを背景に上昇しましたが、保有株式はおおむね横ばいで推移したことから、軽微な影響となりました。一方で為替部分については、米ドルが円に対して上昇 (円安) したことがプラス要因となりました。くわしくは「投資環境について」をご参照ください。

◆ 投資環境について

○ 米国株式市況

米国株式市況は上昇しました。

米国株式市況は、当作成期首より、世界的なインフレ懸念を受けて米国の量的金融緩和の早期縮小観測が強まり金利が上昇したことや、債務上限問題および増税に対する不透明感が高まったことなどから下落しました。2021年10月に入ると、債務上限の適用が一時的に先送りされたことや良好な企業決算の発表が相次いだことなどから上昇しました。その後は、CPI (消費者物価指数) の上昇加速を受けて早期利上げ観測が強まったことや、新型コロナウイルスの新変異株への警戒感が広がったことなどから一時的に下落する局面があったものの、良好な経済指標の発表が相次いだことなどから、年末にかけて株価は上昇基調を維持しました。2022年に入ると、FRB (米連邦準備制度理事会) による金融引き締めへの懸念が高まり金利が上昇したことなどを嫌気したほか、ウクライナ情勢の緊迫化の影響を受け、成長株を中心に下落しました。当作成期末にかけては、ウクライナとロシアの停戦協議進展への期待や原油価格の上昇一服、FOMC (米連邦公開市場委員会) を無難に通過したことによる不確実性の後退などを背景に上昇しました。

○ 為替相場

米ドル為替相場は対円で上昇しました。

米ドルの対円為替相場は、当作成期首より、利上げ観測の高まりや日米金融政策の方向性の違いを要因として、上昇しました。その後、米ドルは一時下落しましたが、米国の利上げ回数の増加観測などを受けて再度上昇しました。2022年に入ってから、おおむねレンジ内での推移となりました。当作成期末にかけては、米国金利上昇による日米金利差拡大から円安米ドル高で推移しました。

◆ 前作成期末における「今後の運用方針」

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことにより魅力的なバイバック企業 (自社株買いに積極的な企業) を選定していく方針です。

◆ ポートフォリオについて

ポートフォリオは、米国のバイバック企業に投資し、おおむね90%以上の株式組入比率を維持しました。業種別では、情報技術セクター、ヘルスケアセクター、一般消費財・サービスセクターの組入比率を高位に維持しました。個別銘柄では、各企業の時価総額や成長性、株価バリュエーションなどを総合的に勘案し、APPLE INC (情報技術)、MICROSOFT CORP (情報技術)、ALPHABET INC-CL A (コミュニケーション・サービス) などを組入上位としました。

◆ ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期の当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。

参考指数は投資対象資産の市場動向を表す代表的な指数として掲載しております。

《今後の運用方針》

自社株買いの実施状況や実現可能性、キャッシュフローおよび財務内容などの観点から企業の資本配分戦略を検証しつつ、業績動向、経営方針、株価バリュエーションなどの分析を行うことにより魅力的なバイバック企業を選定していく方針です。

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

■1万口当りの費用の明細

項 目	当 期
売買委託手数料 (株式)	14円 (14)
有価証券取引税 (株式)	0 (0)
その他費用 (保管費用)	5 (5)
(その他)	0 (0)
合 計	19

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

■売買および取引の状況

株 式

(2021年9月22日から2022年3月18日まで)

	買 付		売 付	
	株 数	金 額	株 数	金 額
外国	百株	千アメリカ・ドル	百株	千アメリカ・ドル
アメリカ	1,788.25 ()	25,742 (△ 1)	1,735.7	26,408

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) ()内は株式分割、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 金額の単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

株 式

(2021年9月22日から2022年3月18日まで)

銘 柄	当 期			銘 柄	期 末		
	株 数	金 額	平均単価		株 数	金 額	平均単価
FORTINET INC (アメリカ)	2.7	103,522	38,341	META PLATFORMS INC CLASS A (アメリカ)	3.3	108,620	32,915
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B (アメリカ)	2.7	100,238	37,125	ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	0.27	86,383	319,937
PALO ALTO NETWORKS INC (アメリカ)	1.3	78,544	60,418	FORTINET INC (アメリカ)	2.2	77,849	35,386
COCA-COLA CO/THE (アメリカ)	10.5	74,085	7,055	BOOKING HOLDINGS INC (アメリカ)	0.295	76,611	259,700
BROADCOM INC (アメリカ)	1	68,198	68,198	NVIDIA CORP (アメリカ)	2.5	75,020	30,008
ALPHABET INC-CL A (アメリカ)	0.2	66,874	334,371	MORGAN STANLEY (アメリカ)	6.6	72,867	11,040
BOOKING HOLDINGS INC (アメリカ)	0.24	66,844	278,517	INTUIT INC (アメリカ)	1	66,499	66,499
WYNDHAM HOTELS & RESORTS INC (アメリカ)	6.6	64,280	9,739	JPMORGAN CHASE & CO (アメリカ)	3.7	66,388	17,942
AMERICAN EXPRESS CO (アメリカ)	3.1	61,650	19,887	ADOBE INC (アメリカ)	1	65,994	65,994
CHEVRON CORP (アメリカ)	4.1	60,423	14,737	NEXTERA ENERGY INC (アメリカ)	7.1	64,404	9,071

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 金額の単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

外国株式

銘 柄	期 首		当 期		期 末		業 種 等
	株 数	株 数	評 価 額				
			外貨建金額	邦貨換算金額			
	百株	百株	千アメリカ・ドル	千円			
(アメリカ)							
PALO ALTO NETWORKS INC	6	8.3	468	55,576	情報技術		
SYNCHRONY FINANCIAL	16	—	—	—	金融		
ABBOTT LABORATORIES	25	19	230	27,331	ヘルスケア		
ADOBE INC	9	1	44	5,274	情報技術		
DR HORTON INC	—	8	66	7,900	一般消費財・サービス		
APPLE INC	148	146	2,345	278,334	情報技術		
DISCOVER FINANCIAL SERVICES	25	—	—	—	金融		

銘柄	期首		期末		業種等
	株数	株数	評価額		
			外貨建金額	邦貨換算金額	
BERKSHIRE HATHAWAY INC-CL B	—	百株 27	千アメリカ・ドル 931	千円 110,550	金融
JPMORGAN CHASE & CO	32	5	70	8,317	金融
DOLLAR GENERAL CORP	6	—	—	—	一般消費財・サービス
CATERPILLAR INC	7	—	—	—	資本財・サービス
MORGAN STANLEY	56	5	46	5,570	金融
BROADCOM INC	9	12	723	85,837	情報技術
DEERE & CO	—	8	324	38,564	資本財・サービス
QUANTA SERVICES INC	19	25	314	37,286	資本財・サービス
FEDERATED HERMES INC	25	—	—	—	金融
MOLINA HEALTHCARE INC	7	6	202	24,028	ヘルスケア
AECOM	—	43	333	39,543	資本財・サービス
XPO LOGISTICS INC	15	—	—	—	資本財・サービス
COSTCO WHOLESALE CORP	—	3	165	19,683	生活必需品
HILTON WORLDWIDE HOLDINGS IN	—	15	226	26,908	一般消費財・サービス
ALIGN TECHNOLOGY INC	8	—	—	—	ヘルスケア
HCA HEALTHCARE INC	6	12	320	38,024	ヘルスケア
COCA-COLA CO/THE	—	66	396	47,071	生活必需品
CSX CORP	—	23	83	9,909	資本財・サービス
EXPEDIA GROUP INC	—	11	211	25,067	一般消費財・サービス
AMAZON.COM INC	1.4	2.6	817	97,046	一般消費財・サービス
EDWARDS LIFESCIENCES CORP	36	8	90	10,685	ヘルスケア
EXXON MOBIL CORP	31	31	244	29,059	エネルギー
AGILENT TECHNOLOGIES INC	21	—	—	—	ヘルスケア
FORTINET INC	—	5	151	18,010	情報技術
NEXTERA ENERGY INC	60	40	330	39,257	公益事業
UNITED RENTALS INC	11	—	—	—	資本財・サービス
GOLDMAN SACHS GROUP INC	15	—	—	—	金融
ALPHABET INC-CL A	6.3	5.6	1,498	177,915	コミュニケーション・サービス
HOME DEPOT INC	7	12	403	47,907	一般消費財・サービス
ZOETIS INC	12	5	96	11,493	ヘルスケア
JOHNSON & JOHNSON	18	11	194	23,082	ヘルスケア
ABBVIE INC	17	29	459	54,586	ヘルスケア
KLA CORP	—	2	70	8,370	情報技術
LGI HOMES INC	4	—	—	—	一般消費財・サービス
LOWE'S COS INC	9	12	281	33,382	一般消費財・サービス
ELI LILLY & CO	12	17	485	57,608	ヘルスケア
LAM RESEARCH CORP	5	—	—	—	情報技術
META PLATFORMS INC CLASS A	34	10	207	24,668	コミュニケーション・サービス
MARTIN MARIETTA MATERIALS	—	1.5	57	6,820	素材
METLIFE INC	—	41	279	33,173	金融
MARRIOTT INTERNATIONAL -CL A	—	16	273	32,519	一般消費財・サービス
NETAPP INC	41	—	—	—	情報技術
NIKE INC -CL B	17	9	114	13,610	一般消費財・サービス
MCKESSON CORP	8	9	265	31,503	ヘルスケア
WYNDHAM HOTELS & RESORTS INC	—	32	271	32,241	一般消費財・サービス
LINDE PLC	—	7	216	25,703	素材
O'REILLY AUTOMOTIVE INC	5	6.1	427	50,776	一般消費財・サービス
PIONEER NATURAL RESOURCES CO	—	5.5	132	15,757	エネルギー
PROCTER & GAMBLE CO/THE	—	14	210	24,963	生活必需品
CONOCOPHILLIPS	15	14	138	16,422	エネルギー
PEPSICO INC	22	14	225	26,742	生活必需品
CORTEVA INC	—	67	373	44,365	素材
ACCENTURE PLC-CL A	16	12	383	45,505	情報技術

ダイワ米国バイバック・マザーファンド

銘柄	株数	株数	期末		業種等	
			評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
QUALCOMM INC	11	14	千アメリカ・ドル	25,395	千円	情報技術
REGENERON PHARMACEUTICALS	3	—	—	—	—	ヘルスケア
BOOKING HOLDINGS INC	0.7	0.15	32	3,847	—	一般消費財・サービス
CHEVRON CORP	—	18	288	34,276	—	エネルギー
CHARTER COMMUNICATIONS INC-A	3.8	—	—	—	—	コミュニケーション・サービス
TRAVELERS COS INC/THE	—	11	199	23,635	—	金融
JOHNSON CONTROLS INTERNATION	40	5	32	3,849	—	資本財・サービス
UNION PACIFIC CORP	3	12	316	37,538	—	資本財・サービス
UNITEDHEALTH GROUP INC	13	14	709	84,249	—	ヘルスケア
ULTA BEAUTY INC	9	7	271	32,178	—	一般消費財・サービス
ANTHEM INC	2	8	382	45,399	—	ヘルスケア
WELLS FARGO & CO	37	58	298	35,438	—	金融
WASTE MANAGEMENT INC	—	16	249	29,554	—	資本財・サービス
TRACTOR SUPPLY COMPANY	—	11	255	30,368	—	一般消費財・サービス
VISA INC-CLASS A SHARES	15	11	234	27,867	—	情報技術
NVIDIA CORP	42	20	495	58,789	—	情報技術
THERMO FISHER SCIENTIFIC INC	6	3	171	20,376	—	ヘルスケア
MASTERCARD INC - A	4	10	346	41,118	—	情報技術
BANK OF AMERICA CORP	51	76	327	38,814	—	金融
AMERICAN EXPRESS CO	—	14	261	31,068	—	金融
ANALOG DEVICES INC	6	—	—	—	—	情報技術
ADVANCED MICRO DEVICES	—	20	223	26,512	—	情報技術
EMERSON ELECTRIC CO	26	17	162	19,267	—	資本財・サービス
EATON CORP PLC	19	9	139	16,524	—	資本財・サービス
APPLIED MATERIALS INC	25	9	118	14,099	—	情報技術
SCHWAB (CHARLES) CORP	18	37	332	39,427	—	金融
ILLINOIS TOOL WORKS	3	—	—	—	—	資本財・サービス
ILLUMINA INC	4	—	—	—	—	ヘルスケア
TARGET CORP	13	—	—	—	—	一般消費財・サービス
JACOBS ENGINEERING GROUP INC	12	—	—	—	—	資本財・サービス
MICROSOFT CORP	73	69	2,037	241,773	—	情報技術
CVS HEALTH CORP	—	28	303	36,077	—	ヘルスケア
MICRON TECHNOLOGY INC	14	8	64	7,645	—	情報技術
BLACKROCK INC	3	—	—	—	—	金融
MONDELEZ INTERNATIONAL INC-A	—	9	56	6,651	—	生活必需品
CHUBB LTD	—	16	337	40,088	—	金融
PAYPAL HOLDINGS INC	11	—	—	—	—	情報技術
BIOGEN INC	2	—	—	—	—	ヘルスケア
STARBUCKS CORP	20	—	—	—	—	一般消費財・サービス
INTUIT INC	11	1	47	5,622	—	情報技術
BOSTON SCIENTIFIC CORP	20	—	—	—	—	ヘルスケア
ELECTRONIC ARTS INC	10	—	—	—	—	コミュニケーション・サービス
VERTEX PHARMACEUTICALS INC	—	13	325	38,574	—	ヘルスケア
ファンド合計	株数、金額 銘柄数<比率>	1,373.2 74銘柄	1,425.75 77銘柄	25,444	3,019,992	<98.0%>

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。

(注2) < >内は純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 3,019,992	% 95.3
コール・ローン等、その他	148,498	4.7
投資信託財産総額	3,168,490	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切捨て。

(注2) 外貨建資産は、期末の時価を対顧客直物電信売買相場の仲値をもとに投資信託協会が定める計算方法により算出されるレートで邦貨換算したものです。なお、3月18日における邦貨換算レートは、1アメリカ・ドル＝118.69円です。

(注3) 当期末における外貨建純資産(3,063,746千円)の投資信託財産総額(3,168,490千円)に対する比率は、96.7%です。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2022年3月18日現在

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,168,490,705円
コール・ローン等	48,133,228
株式(評価額)	3,019,992,299
未収入金	98,042,889
未収配当金	2,322,289
(B) 負債	85,654,801
未払金	82,654,801
未払解約金	3,000,000
(C) 純資産総額(A-B)	3,082,835,904
元本	1,344,991,139
次期繰越損益金	1,737,844,765
(D) 受益権総口数	1,344,991,139口
1万口当り基準価額(C/D)	22,921円

* 期首における元本額は1,387,214,492円、当作成期間中における追加設定元本額は61,662,190円、同解約元本額は103,885,543円です。

* 当期末における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：

ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジあり) 232,783,870円

ダイワ米国バイバック・ファンド(為替ヘッジなし) 1,112,207,269円

* 当期末の計算口数当りの純資産額は22,921円です。

■損益の状況

当期 自 2021年9月22日 至 2022年3月18日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	16,486,333円
受取配当金	15,589,065
受取利息	1
その他収益金	900,030
支払利息	△ 2,763
(B) 有価証券売買損益	224,875,471
売買益	489,199,766
売買損	△ 264,324,295
(C) その他費用	△ 748,116
(D) 当期損益金(A+B+C)	240,613,688
(E) 前期繰越損益金	1,549,007,724
(F) 解約差損益金	△ 129,114,457
(G) 追加信託差損益金	77,337,810
(H) 合計(D+E+F+G)	1,737,844,765
次期繰越損益金(H)	1,737,844,765

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。